

山形中央高校、谷地高校が出場！ 第27回全国高等学校デザイン選手権大会 決勝大会 2/26(土)にオンラインで配信・生中継



写真：「デザセン 2019」優勝チーム 九州産業大学付属九州高等学校（福岡県）

東北芸術工科大学（山形市／学長 中山ダイスケ）は、第27回全国高等学校デザイン選手権大会（通称／以下：デザセン 2021）決勝大会を2022年2月26日（土）にオンラインで開催し、ニコニコ生放送（および Youtube）で生中継します。

決勝大会当日は、全国602チームの応募の中から、一次・二次予選を突破した10チーム（1チーム3名）が、提案内容を7分間の映像としてまとめ、アイデアを発表します。審査員7名のほか、インターネット中継の視聴者が審査を行い、優勝（文部科学大臣賞）以下を決定します。

山形県内からは、山形中央高校と谷地高校が出場します。

つきましてはぜひ県内外の多くの方にご覧いただきたく、取材等のお願いを申し上げます。

■デザセンとは

本学が主催する、高校生を対象にした問題解決・提案型の全国大会です。

高校生が自らの視点で、社会や地域、身近な暮らしの中から問題点を見つけ出し、その解決策を提案するものです。

何を取り組むべき問題として発見するか、それをどうとらえて探究するか…。そして、いかに画期的な解決策を考えだし、その一連の内容をしっかりと伝達できるか…。

とても難しいことですが、毎年、高校生らしい視点で数多くの提案が寄せられます。

高校内では、探究型学習や課題研究の授業などで取り組まれ、例年、全国から約1,000件もの提案書による応募があります。一次、二次審査を通過した10チームが決勝大会に進出し、公開プレゼンテーションに臨みます。

決勝大会では、教育やクリエイティブなど多様な分野で活躍している審査員との質疑応答により、問題発見の視点とその分析力、探究力、提案力、表現力などを総合的に審査します。

■山形中央高校の提案『山形しかカタン！』

峯田彩羽（みねた あやね）さん、石山士恩（いしやま しおん）さん、高子結衣（たかこ ゆい）さんが出場します。（全員2年生）

世界的な人気を誇るボードゲーム「カタン」。複数の地形から産出される資源を組み合わせ、町をつくり、街道をのぼしていくゲームシステムを活かし、地域版のカタンを制作してマイクロリズムの活性化に繋げることを目指したアイデアです。完成した「蔵王温泉版」「七日町版」カタンの紹介、その制作過程とイベントの様子も合わせて発表します。

■谷地高校の提案『すてきな「えっ☆ほん」～わたしたちのユマニチュードをさがして～』

今井鈴花（いまい りんか）さん、尾崎李果（おざき ももか）さん、井上愛菜（いのうえ まな）さんが出場します。（全員2年生）

多くの人が、人生の最後まで自分らしく過ごしたいと考えます。しかし実際にはその願いが叶わないこともあります。認知症には、大切な思い出を1つ1つ忘れていく症状があります。失う悲しさは本人だけでなく、忘れられていく家族にもあると思います。そんな家族の歴史を「絵本」にして残し、「絵本」を通し、最後の最期まで「私が私でいる」ための提案です。

■第27回 全国高等学校デザイン選手権大会(デザセン2021)決勝大会概要

日時：2022年2月26日（土）12:30 開会～17:20（大会終了予定）

配信：ニコニコ生放送（<https://live.nicovideo.jp/watch/lv335202383>）

主催：東北芸術工科大学／後援：文部科学省、経済産業省、山形県、山形市 ほか

HP：<https://www.tuad.ac.jp/dezasen/>

<発表順>

1. 「山形しかカタン！」

山形中央高等学校／山形県

2. 『すてきな えっ☆ほん』～わたしたちのユマニチュード～

谷地高等学校／山形県

3. 「emolight」

伊奈学園総合高等学校／埼玉県

4. 「リセットノート」

名城大学附属高等学校／愛知県

5. 「アフター大河バトンプロジェクト」

福知山高等学校／京都府

6. 「地域のソース屋さん」

大阪府立園芸高等学校／大阪府

7. 『チリメンモンスターさがし』のカードゲームを作って『海の豊かさを守ろう』

玉野高等学校 / 岡山県

8. 「聞こえてる？子どもたちの声～UFOC 活動を通して～」

宇部フロンティア大学附属高等学校 / 山口県

9. 「刃物との付き合い方」

九州産業大学附属九州高等学校 / 福岡県

10. 「O!BENTO バイキング」

有田工業高等学校 / 佐賀県

■2021 決勝大会出場 10 チームの情報は以下をご覧ください。

<http://blog.tuad.ac.jp/dezasen/>

■審査員は、教育・地域づくり・クリエイティブの専門家

審査員は本学教員のほか、上智大学総合人間科学部教育学科教授で、中央教育審議会教育課程部会委員の奈須正裕氏と、IFA 認定アロマセラピストで、2018 年一般社団法人「はっぷ（葉山つながり project）」を発起し、病院での園芸療法プログラムやコミュニティーガーデンでの多世代交流を展開している大橋マキ氏の 2 名を向かえます。

学内審査員は、アートとデザインに精通している中山ダイスケ学長、エネルギーまちづくり社代表取締役で、持続可能エネルギーにも詳しい建築・環境デザイン学科 竹内昌義教授、本学高大接続推進部長のプロダクトデザイン学科 柚木泰彦教授、高校生への人材育成事業を中心に様々な活動を行っている、コミュニティデザイン学科矢部寛明専任講師、ライターとして日本の文学・マンガなどについて書きつつ、大学では日本の少女マンガやサブカルチャーについての研究をしている文芸学科トミヤマユキコ専任講師の 5 名になります。

詳しいプロフィールは以下をご参照ください。

<https://www.tuad.ac.jp/dezasen/about/judgment.html>

取材をご希望の方は事前に以下の内容を、デザイン選手権事務局までご連絡ください。

受賞チームインタビューなどの対応準備をします。

- ① 御社名
- ② 代表者氏名
- ③ 携帯番号
- ④ メールアドレス
- ⑤ 参加人数※新型コロナ感染拡大防止対策を目的とした来場者の把握となります。お手数をおかけいたしますが、記入へのご協力のほどお願い申し上げます。